

# ぼくたちのわらぞうり 【低学年4 - ( 3 )】

## - 書く活動を取り入れ、価値に迫る工夫 -

( 1 ) 主題名 学校を愛する心 [ 4 - ( 3 )] 関連項目 [ 4 - ( 1 )]

( 2 ) ねらい 学校を愛する心情を育てる。

( 3 ) 資料名 「ぼくたちのわらぞうり」

( 4 ) 授業の展開例

	学習活動	主な発問と児童の心の動き	留意点
導入	1 校章を見て話し合う。	校章を見て気付いたことはありますか。 ・体育館にあるよ。 ・学校の名前が書いてある。 ・何かの絵みたいだ。	どんな時に校章を見るか、デザインから発見したことなど自由に発表させ、関心を高める。
展開	2 資料を読んで、ともきくんがわらぞうりをはかないのはなぜだろう。 ・足が痛くなるから。 ・時代遅れだから。 ・転校してきたばかりで学校のことが好きでないから。  先生の話を聞いて、ともきくんはどんな気持ちになったでしょう。 ・わらぞうりをはくと元気になるかな。 ・せっかく6年生がつくってくれたのだからはこう。 ・わらぞうりの意味がわかったよ。	わらぞうりの実物か絵などを提示して、資料について、理解しやすくさせる。	
開拓	3 自分たちの学校の好きなところをみんなで考える。	自分の学校の好きなところはどんなところですか。 ・友だちがたくさんいること ・先生が優しいこと ・みんな仲良しなこと ・遊具がたくさんあること ・ウサギがたくさんいること	わらぞうりに込められた思いを知ることで、学校に愛着をもつようになったことを押さえる。  ワークシートを用意し、書きこませる。
終末	4 校歌を歌う。	・自分たちの学校を大切にしたいな。	みんなの力でもっと楽しい学校にすることができることを話して終わる。

## ぼくたちのわいわいつ

ぼくたちの学校は、校舎の中ではわいわいつをせんべりになつてこます。やこしまむすかしかったなび、こまでもすいかつなれっこまく。ねねなび、呪のわいがなんだかきわめてこので、せんせわいがなつがきにじつてこまく。

だねび、「歩きからでん校してたともきくせ、こつもショーブをはこてこます。

「えりこわいわいつをせかなこ。」

ぼくは、ともきくせにきてみました。

「だつてゆびがいたくなるんだよ。先生も、わいわいつをせなことこけないなんてこつてなかつたよ。だいいか、じだいおくれだよ。」

と、ともきくせにいたえました。

「先生、えりこわいの学校ではわいわいつをせんべりですか。」

「わいわいの日、ぼくは、かえりの余で、先生にじつせんしてみました。先生ははんてこしながり、つわのよつなはなしをしてくられました。」

「わいわいつをせんべのせ、みんなのねじこわやん、おまあわやんが小学生だったひんからずつとつづいてこるんだよ。」

そして、

「だれがこのわいわいつを作つてこるのが知つてこますか。」

と、先生は、みんなにたずねられました。

「じつは、みんなのはじてこるわいわいつは、きょ年の六年生が作つてくれたものなんです。」

クラスのみんながねじこわいわいつを見ました。ともきくせも、先生のはなしをこつしょくせんめいきいてこるよつです。

「わいわいつをはこじ、みんながげんきにするせめくわいわいつ、これからもわいわいつをみんながはまつりますよつねがこをいめじ、まこ年、やつわくねんとじて、作りてこるんです。」

先生のはなしをきくじ、みんなは、わいわいつをじめられたおもこを、はじめてこつました。

つわの口のあや、

「ねまよへ。」

ともきくせがげんきにいえをかけてくられました。ふと、呪もとを見てみると、ともきくせんもわいわいつをはこじこます。ぼくは、つれじくなつてあこわつをかえしました。

# 活用に生かすための実践報告

「ぼくたちのわらぞうり」

## 1 主題の設定

この資料では、学校ではくわらぞうりに込められた思いを知ることで、学校を好きになっていく転校生を描写している。自分たちの学校のよさや好きなところを見つけて、学校に親しみを持ち、学級や学校の生活を自分たちで楽しくしようとする態度を育てていきたい。

## 2 指導過程の工夫

導入で校章を提示し、そのデザインなどを味わうことで、児童の関心を高めることができます。

資料の把握には時間をかけず、自分の学校のいいところを考える活動に十分時間を取りたい。ワークシートに書く活動を取る場合には児童の実態を踏まえ、吹き出しに書かせるなどの工夫をするとよい。

## 3 発問の工夫

「ともきくん」がわらぞうりをはくようになった理由を考えさせる発問では、学校のきまりだからといった理由だけでなく、学校に愛着がもてるようになったことをおさえる必要がある。

## 4 児童の反応（授業後の感想）

【ともきくんがわらぞうりをはかない理由を考える。】

- ・はずかしいから。
- ・時代遅れだから。
- ・指が痛くなるから。

【先生の話を聞いたともきくんの気持ちを考える】

- ・去年の6年生の思いがこもっているんだ

な。

- ・一生懸命作ってくれたわらぞうりなんだな。

【自分の学校の好きなところを考える】

- ・職員玄関にステンドグラスがある。
- ・学校の先生が優しい
- ・ふるさと池（ビオトープ）がある。
- ・伝統のわらぞうりをみんながはいている。

- ・一人一人が気持ちのよいあいさつができる。

- ・学校のみんなが仲がよい。
- ・動物がたくさんいること。
- ・給食を全校で食べること。

【校歌を歌う児童の様子】

自分の学校にしかない校歌を誇りに思う児童の様子がみられた。児童から教室でなく体育館で大きな声で歌いたいという反応もあった。

## 5 実践者からの一言

資料のわらぞうりに託されたみんなの願いについて考え、その思いを大切にしていかなくてはならないということを感じることができた。

自分の学校のよさを施設や環境だけでなく友だちや先生の様子からも見つけだせることができた。

最後に自分の学校の校歌を歌うことで自分の学校を誇りに思う姿が見られた。

（湯来西小学校 奥谷 徹）